

質量分析の最新動向と未来

平成28年12月2日(金)～3日(土)

Dec 2-3, 2016, Osaka, Japan

会場

ホテル阪急エキスポパーク【泉の間】
大阪府吹田市千里万博公園1-5

12月2日(金)

13:00-13:10 所長挨拶

13:10-13:50 「多重周回飛行時間型質量分析計開発の過去、現在、未来」
上田 祥久、佐藤 貴弥 (日本電子)

13:50-14:30 「走査型プローブエレクトロスプレーイオン化法の開発とイメージング質量分析への応用」
大塚 洋一 (阪大院理)

14:30-15:10 「ペプチド構造解析の現状—質量分析はエンドマン分解を超えたか」
宮下 正弘 (京大院農)

15:20-16:00 「低分子化合物を対象とする表面支援レーザー脱離イオン化質量分析と質量分析イメージングへの応用」
川崎 英也 (関西大工)

16:00-16:40 「日本の分析機器メーカーの挑戦—Only One, Number Oneを目指して」
飯田 順子 (島津製作所、阪大)

16:40-17:20 「高速トリプル四重極型質量分析計によるリポドミクス技術開発」
山田 真希 (島津製作所)

17:20-18:00 「イオン検出器の開発動向」
小林 浩之 (浜松ホトニクス)

18:00- 意見交換会

12月3日(土)

9:00- 9:40 「予期せぬ変化に気づけ！」
高山 光男 (横浜市立大学)

9:40-10:20 「有機分子の同定：MSの新しい課題」
中村 健道 (理研CSRS分子構造解析ユニット)

10:30-11:10 「メタボロミクにおける分析技術の最新動向と今後の課題」
馬場 健史 (九大生医研)

11:10-11:50 「構造生物化学へのブレークスルー？」
高尾 敏文 (阪大蛋白研)

12:50-13:30 「阪大における質量分析装置の開発と応用の近況」
青木 順、豊田 岐聡 (阪大院理)

13:30-14:10 「ジストログリカンの新規糖鎖構造解明：質量分析によるブレークスルー」
和田 芳直 (大阪府立母子保健総合医療センター)

14:10-14:50 「重量級質量分析計の時代」
石原 盛男 (阪大院理)

参加登録・参加費不要

問い合わせ先：高尾 敏文 (阪大蛋白研、tak@protein.osaka-u.ac.jp)